

| | | | | | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | スポーツ実技Ⅱバレーボール | 担当 | 縄田 亮太 | 履修学年 | 2年 |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 選択 | 単位数 | 1単位 |

【授業目標・到達目標】

豊かなスポーツライフを目指し、受講者全員がバレーボールの魅力を感じることができることである。そのためには、誰とでもバレーボールのゲームに参加することができるようになることを目指す。

【履修注意】

受講者全員がバレーボールを楽しめるように、授業を自分たちで創る気持ちが必要です。I'm Funも大切にしながら、We're Funを実現できるような心構えが必要です。

【評価方法】

技能、思考、態度を総合的に評価する。特に、態度を重視する。

【試験について】

実施しない。

再試験対象者の条件:なし

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|-----------------|-------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 受講上の注意 |
| 2 | 得点の意識をもつ | 少人数ゲームが中心 |
| 3 | 得点の意図的にする | 少人数ゲームが中心 |
| 4 | 失点を回避する意識をもつ | 少人数ゲームが中心 |
| 5 | 失点を意図的に回避する | 少人数ゲームが中心 |
| 6 | 連係プレーを意識する | 少人数ゲームが中心 |
| 7 | 連係プレーを意図的にする | 少人数ゲームが中心 |
| 8 | 得点の意識をもつ(2) | 少人数ゲームが中心 |
| 9 | 得点の意図的にする(2) | 少人数ゲームが中心 |
| 10 | 失点を回避する意識をもつ(2) | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |
| 11 | 失点を意図的に回避する(2) | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |
| 12 | 連係プレーを意識する(2) | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |
| 13 | 連係プレーを意図的にする(2) | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |
| 14 | 誰とでも連係プレーを挑戦できる | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |
| 15 | 誰とでも連係プレーを実現できる | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |
| 16 | 誰とでもバレーを楽しむ | クラスのレベルに応じて適当な人数のゲームが中心 |